

2012年7月20日

各位

株式会社KMO

**うめきた・グランフロント大阪 ナレッジキャピタルに
「メルセデス・ベンツ コネクション」出店決定**

株式会社KMO（本社：大阪市北区、代表取締役社長：間渕 豊）は、JR大阪駅北側の「うめきた」にて現在建設中のグランフロント大阪（2013年3月竣工予定）の中核施設「ナレッジキャピタル」において、メルセデス・ベンツ日本株式会社（本社：東京都港区、社長：ニコラス・スピークス、以下「MBJ」）が参画することが決定いたしましたのでお知らせいたします。

MBJは、大阪に初進出となるメルセデス・ベンツブランドの情報発信拠点「メルセデス・ベンツ コネクション」を、感性と技術を融合した新しい価値創出拠点を目指す「ナレッジキャピタル」の1階に新規オープンします。

大阪に誕生する「メルセデス・ベンツ コネクション」は、ナレッジキャピタルにおいてさまざまな業種の企業が、生活者とコミュニケーションを行う場として集積する「フューチャーライフショールーム」（1～6階、延床面積計約21,000㎡）内に位置します。フューチャーライフショールームは、買うだけの店舗、見るだけのショールームではなく、「買う」「見る」「参加する」「学ぶ」など複数の機能を備え、一步先の未来を提案する企業と生活者がコミュニケーションを行うことにより新しい価値を生み出していく空間です。

一日乗降客数250万人を誇る大阪・梅田に新しく生まれるナレッジキャピタルに、MBJは新たな顧客層へのブランドイメージの訴求、さらにはナレッジキャピタルに集積するさまざまな企業・大学・研究機関等との分野を超えた交流やコラボレーションの実践に魅力を感じ、この度出店が決定いたしました。

ナレッジキャピタルでは、場（施設）と機能（人的支援）を活用させ、産業創出、文化発信、国際交流、人材育成を実現していきます。

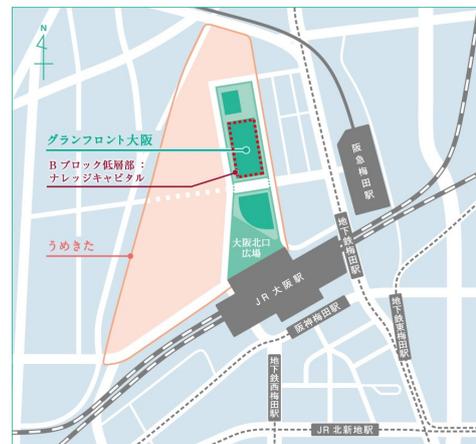
以上

(ご参考)

【うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」概要】



梅田貨物駅を中心とする約24haの「うめきた」(都市再生緊急整備地域内)において、2005年6月に先行開発区域(約7ha)としてUR都市機構が「大阪駅北大深東地区土地区画整理事業」に着手、地権者であるUR都市機構と鉄道・運輸機構が開発事業者を募集。2006年5月、11月に開発事業予定者が決定され、2007年6月に土地の引き渡し完了。2008年2月に「都市再生特別地区」として都市計画決定。2010年3月に新築工事着工。2013年3月竣工予定。オフィス、商業、ホテル・サービスアパートメント、分譲住宅、ナレッジキャピタルにて構成。



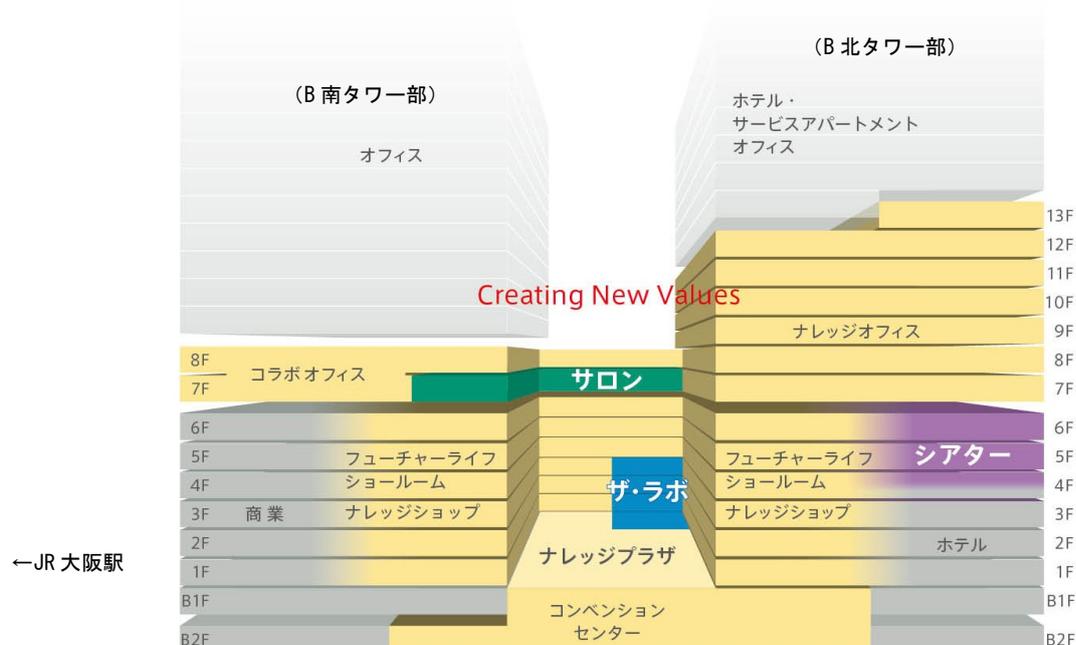
【ナレッジキャピタルについて】

2005年にナレッジキャピタル企画委員会より提言された「ナレッジキャピタル構想」に基づき、UR都市機構ならびに大阪市により開発事業者募集コンペを実施。現開発事業者が選定され、事業推進を行う。ナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設として、多様な人々の交わりから、今までにない商品やサービスを生み出すことを目指しており、それらに必要な場〔施設〕と機能〔人的支援〕を提供する。

＜ナレッジキャピタル施設概要＞

- 所在地： 大阪市北区大深町ほか
うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」Bブロック
地下2階～7階(B南タワー部) / ～13階(B北タワー部)部分
- 延床面積： 約88,200㎡

＜ナレッジキャピタル施設構成図＞



【株式会社KMOについて】

ナレッジキャピタルを企画・運営する組織として、「グランフロント大阪」開発事業者12社の出資により、2009年4月に設立。まちびらき後はナレッジキャピタル施設の管理・運営を担う。2012年6月20日に旧社名株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメントより社名変更。

【開発事業者12社（KMO株主）】

NTT都市開発株式会社、株式会社大林組、オリックス不動産株式会社、関電不動産株式会社、株式会社新日鉄都市開発、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、東京建物株式会社、日本土地建物株式会社、阪急電鉄株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三菱地所株式会社

本リリース資料は、自動車産業記者会（東京）、大阪経済記者クラブ、大阪建設記者クラブ、大阪商工記者会に配布しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社KMO

担当：古市

電話：06-6342-8976



Mercedes-Benz

ブランド情報発信拠点

Press Information

2012年7月20日

2013年以降もメルセデス・ベンツ コネクションを継続・発展

- ・ メルセデス・ベンツ ブランドの情報発信拠点を東阪で展開
- ・ 東京・六本木は2013年1月に移転・新装オープン
- ・ 同年春、大阪の「ナレッジキャピタル」内に新規オープン

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下:MBJ、社長:ニコラス・スピークス、本社:東京都港区)は、メルセデス・ベンツ ブランドの情報発信拠点「Mercedes-Benz Connection (メルセデス・ベンツ コネクション)」を2013年1月、東京・六本木で移転・新装オープンします。同年春には、東京以外で初進出となる大阪にも新規オープンし、東阪の2拠点で継続し、発展させます。

メルセデス・ベンツ コネクションは2011年7月、メルセデス・ベンツブランドとして世界で初めて展開する、カフェやレストランラウンジを中心とした全く新しいコンセプトの情報発信拠点として、東京・六本木に18ヶ月限定で開設しました。新たな顧客層に対するブランドの訴求や浸透を目的として、メルセデス・ベンツに関する情報の発信やイベント会場、他ブランドとのコラボレーションの場として活用し、オープン以来延べ66万人以上(2012年6月末日時点)のお客様にご来店いただきました。

MBJは、「メルセデスをより身近に感じていただける場」として、メルセデス・ベンツ コネクションが果たした役割とその将来性を再認識し、継続・発展を決定しました。六本木では、現在の所在地から北西に徒歩1分の外苑東通り沿いに移転・新装オープンします。外観イメージはそのままに延床面積を拡大し、飲食スペース・内容とも一層の充実を図ります。

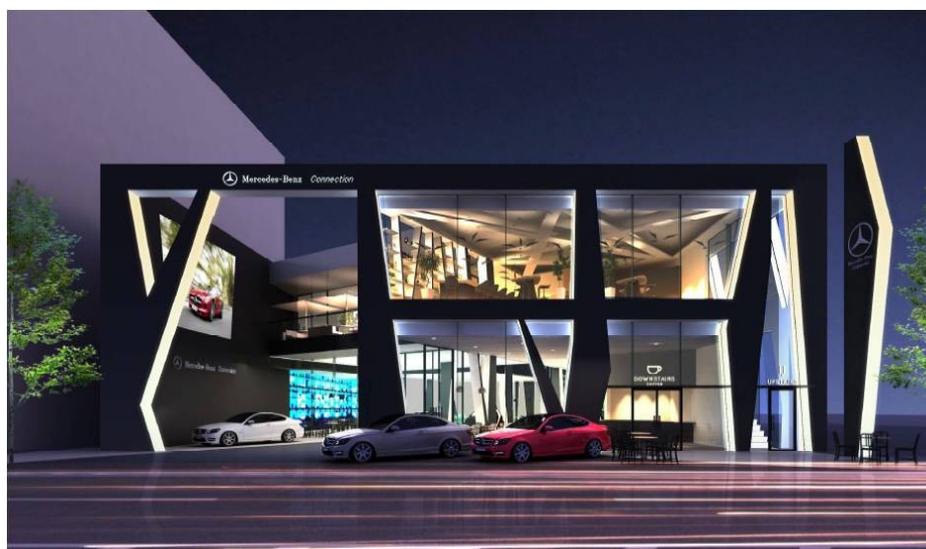
大阪では、JR大阪/梅田駅北側の再開発地域に2013年春に誕生する、うめきた先行開発区域「グランフロント大阪」の中核施設「ナレッジキャピタル」内にテナントとして新規オープンします。隣接する屋内広場「ナレッジプラザ」を活用した車両展示等も行う予定で、西日本のお客様にも、メルセデスをより身近に感じていただける機会を創出します。

MBJ 社長のスピークスは、「メルセデス・ベンツ コネクションの開設と活用により、メルセデス・ブランドをより多くのお客様に体感して頂く機会が創出できました。2013年以降も、東京・六本木と大阪・梅田という東阪のトレンド発信地で、メルセデスの『いま』を感じ、楽しんで頂けることを確信しています。」と述べています。

【Mercedes-Benz Connection 概要】

(東京)

名称 : Mercedes-Benz Connection (メルセデス・ベンツ コネクション)
所在地 : 東京都港区六本木7丁目
オープン : 2013年1月上旬予定
2015年春までの期間限定営業
敷地面積 : 1821.49 m²
延床面積 : 1450.91 m²
構造 : 鉄骨造2階建て



(イメージパース)

(大阪)

名称 : Mercedes-Benz Connection (メルセデス・ベンツ コネクション)
所在地 : ナレッジキャピタル 1F、うめきた先行開発区域「グランフロント大阪」内
(大阪市北区大深町)
オープン : 2013 年春予定
延床面積 : 約 600 ㎡



(イメージパース)

本件に関するお客様のお問い合わせ先 : 0120-190-610(メルセデスコール)